

公益財団法人日本文学振興会

平成 25 年度事業報告書

1. 平成 25 年 4 月 9 日（火）午後 5 時より、帝国ホテル 4 階「桃の間」にて第 44 回大宅壮一ノンフィクション賞の選考委員会を開き、受賞者および受賞作品を下記の通り決定した。

船橋洋一「カウントダウン・メルトダウン」（文藝春秋刊）

その贈呈式および披露宴は 6 月 21 日（金）午後 6 時より「帝国ホテル」3 階「富士の間」にて開催、受賞者に正賞 100 万円を贈呈した。

2. 平成 25 年 4 月 23 日（火）午後 5 時より、「帝国ホテル」4 階「桃の間」にて第 20 回松本清張賞の選考委員会を開き、受賞者および受賞作品を下記の通り決定した。

山口恵以子「月下上海」

その贈呈式および披露宴は 6 月 21 日（金）午後 6 時より「帝国ホテル」3 階「富士の間」にて開催、受賞者に正賞時計、副賞 500 万円を贈呈した。

3. 平成 25 年 7 月 17 日（水）午後 5 時より、築地「新喜楽」にて第 149 回芥川龍之介賞および直木三十五賞の選考委員会を開き、受賞者および受賞作品を下記の通り決定した。

芥川賞 藤野可織「爪と目」（新潮 4 月号）

直木賞 桜木紫乃「ホテルローヤル」（集英社刊）

その贈呈式および披露宴は 8 月 23 日（金）午後 6 時より「東京會館」9 階「ローズルーム」にて開催、受賞者に正賞時計、副賞 100 万円を贈呈した。

4. 平成 25 年 10 月 9 日（水）午後 6 時より、築地「新喜楽」にて第 61 回菊池寛賞選考顧問会を開き、下記の五件の受賞を決定した。

① 中川李枝子、山脇百合子

誕生五十周年を迎える「ぐりとぐら」シリーズなど、数々の名作絵本、童話によって、子供たちの豊かな想像力と感性を育んできた功績。

② 竹本住大夫

八十八歳のいまでも文楽の人気太夫として活躍、戦後の文楽を牽引し、語り続ける情熱に対して。

③ NHKスペシャル シリーズ「深海の巨大生物」

世界で初めて伝説のダイオウイカの撮影に成功。深海の生物の映像を広く紹介し、国民的関心を呼んだ

④ 中村 哲

医師としてパキスタン・アフガニスタンの山岳地帯で医療活動を行ない、アフガン難民の対策事業、井戸掘りによる水源確保など三十年にわたるその活動と努力に対して。

⑤ サザンオールスターズ

デビュー三十五周年の今日まで、その音楽性、キャラクター、メッセージで現代日本の文化に多大な影響を与えてきた。

その贈呈式および披露宴は12月6日（金）午後5時より「ホテルオークラ」本館1階「曙の間」および「平安の間」にて開催、受賞者に正賞時計、副賞100万円を贈呈した。

5. 平成26年1月16日（水）午後5時より、築地「新喜楽」にて第150回芥川龍之介賞および直木三十五賞の選考委員会を開き、受賞者および受賞作品を下記の通り決定した。

芥川賞 小山田浩子「穴」（新潮九月号）

直木賞 朝井まかて「恋歌」（講談社刊）

姫野カオルコ「昭和の犬」（幻冬舎刊）

その贈呈式および披露宴は平成26年2月20日（木）午後6時より帝国ホテル2階「孔雀の間」にて開催、受賞者に正賞時計、副賞100万円を贈呈した。